



キョウチクトウ [夾竹桃]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 外来種



科名 キョウチクトウ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い

枝先に花をつけ6～9月の長期にわたり次々と咲き続ける。一重咲、八重咲や花色にも園芸品種が多い。インド原産の熱帯植物のため寒さに弱い。冷たい季節風に弱いこと以外はいたって強健。アルカロイドを含み経口毒性があるため、子供やペットが口にしないよう注意する。



葉



花



花



花 (八重咲)

Memo

国内で育つキョウチクトウの雄しべは、らせん状に巻き上がる。受粉に支障を起こすため結実は稀。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸 花期							■■■■■						
🍒 果実													
🍁 紅葉													
🌱 施肥		■■■■ (痩せ地でなければ不要)											
✂️ 剪定		■■■■■						★★★	★★★				

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境			
日当たり	陽	○ ○	陰
土壌	乾	○ ○	湿
寒さ	強		○ 弱
暑さ	強	○	弱
潮風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○ ○					

ポイント

強健なこと、刈り込みに耐えること、花期が長いこと、品種が多く花色も豊富なことなど利点が多い。大気汚染など都市環境下でも良く育つ。目隠しやアイストップとして実用的な使い方もできる。

剪定

毎年刈り込めば、1m程の低木としても、また生垣としても利用できる。根元からよく分岐し株立状になるので、枝抜きして新旧更新するとまとめやすい。勢力旺盛なので剪定は強めがよい。

病虫害

病虫害は少ない。